

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2月 15日

事業所名 発達相談支援センター ココベリ (放課後等デイサービス)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・学習活動に適した環境を整えてほしい ・グループ毎に分かれて活動を行う場合もある ・人数次第では机と椅子が足りないときがある ・利用人数が多い日は難しい	・机や椅子については今後子供たちに合った物を少しずつ揃えていく予定です ・限られたスペースを有効活用していけるよう職員間で工夫しながら活
	2 職員の配置数は適切である	○			・重度の児童や人数に合わせて対応している ・人数が多い日は目が行き届かない場合がある	・加配も含めて充足しています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・全面バリアフリー化に向けて努力してほしい ・手すりの配慮はできている ・余暇の時間等は玄関で過ごさないように声掛けを行っている	・今後も全面バリアフリー化に向けて検討し少しずつ改善していけるよう努めて参ります
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		・以前と比べると改善されている	・職員間で意見交換を行う機会を増やし共通理解と支援・療育の質の向上に努めて参ります
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		現在取り組んでいる	・保護者や職員からの意見を踏まえ、出来る範囲で改善に努めて参ります
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○			※平成31年2月にホームページで公開予定
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・改善策を見つける良いきっかけなので是非外部から評価してもらいたい	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・資質向上の為、年間の研修一覧表を作成し、研修へ参加させていただいている	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・職員同士でニーズを把握しようとアセスメントや報連相を行っている	・面談時に要望等があった場合は計画に取り入れるように努めています
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・会議の中で意見を出し合いながら活動内容を決めている	・毎週職員間で意見交換を行う機会を設け、活動内容の質を高めて参ります
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・活動内容がマンネリ化しないように意識しながら提案している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・細かに設定出来ていない	・目的やねらいを具体的に定め、長期休みや一日利用時の活動内容を決めて参ります
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・児童の状態や活動内容によってできるだけ工夫している	・集団活動だけではなく、個別に支援・療育が必要な児童に対して、今後も計画にあげていきます
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・時折出来ない日もあるので時間を決めて実施していきたい ・職員が集まった際に打ち合わせを行い活動等を決めている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		・支援終了時間(勤務時間)が異なる為、必ず打ち合わせをしているとはいえない ・全員分の振り返りは出来ていない	・非常勤の職員については、終礼に参加できない職員もいるので、翌日のミーティング内で前日の反省点や振り返りを行うよう努めて参ります
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・職員一人一人が気を付けていけるように声を掛けあっていきたい ・業務時間内に記録まで済ますことが難しく、翌日に記録を打ち込むことが多い。	・支援を行った日に記録を打ち込める体制作りを行います
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・モニタリング時期に合わせて実施している	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○			・職員全員がガイドラインの内容を把握していけるよう、定期的に内部研修を実施して参ります	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・児発管と利用者の担当職員二人一組で参加している		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・担当職員を中心に細かく確認を行いミスを減らしていきたい		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○					
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			・移行する際、移行支援シートを作成することは可能	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○					
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			・交流する機会を設けてもらいたい	・児童が様々な方達と交流できる環境を作っていききたいです
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				・送迎時に活動の様子を伝えている	・保護者だけではなく、学校の先生やリハビリの先生とも情報を共有し、細かく課題を整理して参ります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				・質の向上を目指し、研修会等への参加を率先して行っていきたい	・知識が不足しているので、今後も様々な研修に参加したり、関係機関からの助言をもとに、保護者に対して正しいアドバイスが行えるように努めて参ります
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				・契約時に重要事項や契約、個人情報の取扱いについて説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				・担当者会議や面談時に出来る限り対応している	・相談の内容によっては基幹センター等にも協力をいただきながら、保護者に対して助言と支援を行います
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			・保護者間で意見交換や情報共有を行う機会が少ない	・保護者間で意見交換や情報共有が行える環境を整えていききたいです
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				・相談及び苦情に関しては上司や係の職員に報告し、受付書を作成した後、会議で話し合いを行っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○					・定期的にお便りを作成し、保護者の方に施設での取り組み等をお知らせしていきます
	35	個人情報に十分注意している	○				・必要ない書類に関してはシュレッダーを使用するように心掛けている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・絵カード、文字、簡単な手話等を活用している	・今後も少しずつ構造化を図って参ります
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・今後は地域の方との交流も行っていきたい	・地域住民等、誰でも参加できるイベントを検討し、児童が様々な方達と交流できる環境を作っていききたいです

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・保護者に対しての周知は行っていない	・定期的に各マニュアルの見直しを行い、内部研修や保護者会の中で職員及び保護者に対して周知して参ります
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		・年に2回、火災避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		・虐待防止、権利擁護の研修に参加 ・年に1回内部研修にて虐待防止の研修を実施している	・今後も毎年職員を虐待防止の研修に参加してもらい、内部研修でも虐待について
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		・該当者に対しては説明を行い、個別支援計画書にも記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・医師の指示書に基づく対応は出来ていないが、食物アレルギー等の児童に対しての配慮は出来ている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		・ヒヤリハット報告書を作成した場合、全体会議の中で報告をしている	・今後も再発防止策を職員に周知した上で、児童が安心して利用できる環境作りに努めて参ります